

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	一宮市	子ども会名	東印田子ども会
活動名	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目に✓点を記入してください) (事業名: ソフトボール練習)		
活動の内容	ソフトボール大会に向けて約一か月の間、週末に練習をします。通常の登下校のように集合場所に集合して学校まで行きます。交代で保護者の方に引率をお願いしますが、子ども達も道具運びを手伝ってくれます。練習では、低学年・高学年に分かれてノックやバッティング練習を行ったり、全員で順番に守備や打席を回していく練習を行ったりします。監督の保護者だけでなく、参加できる保護者が練習メニューに応じて協力して指導をします。また大会前には数回の練習試合も行います。低学年の子も打順が回ってきたときは、重いバットを一生懸命に振っています。高学年もそんな低学年の子を応援したり、アドバイスをしていたりします。大会当日はチーム一丸となって勝利を目指します。試合に出れない子も、一緒に練習をしてきたチームのメンバーの応援を頑張ってくれます。		
日時	2019年 7月 7日(日) 時間 8時30分 ~ 15時30分	場所	一宮市立向山小学校
予算	15000 円	参加人数	子ども 8名 大人 10名
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	練習に向かう時には、高学年の子どもが道具を運ぶ姿を見て低学年の子も自発的に協力してくれるようになりました。朝早い練習の時、最初は眠くて参加するのが嫌そうな低学年の子もいましたが、時間がたつうちにみんなと楽しく練習できるようになりました。またソフトボール練習を一緒に行うことで、登下校だけではまだよく分からなかった一年生のことを知ることができ、高学年の子も一年生と仲良くなれました。子ども会という集団がソフトボールのチームになることで、よりお互いを知ることができ団結できるようになりました。大会当日も試合ではみんなで声を合わせて応援したり、試合以外の待ち時間でもみんな楽しく過ごしていました。また、普段あまり顔を合わせることもない保護者の方も練習に参加してくれることで交流できました。困った点は、今年は時期を早めて始まった練習でしたが、最初の練習のころでも気温の高い日があり、暑さにまだ慣れていない時期でもあったので、こまめに休憩を取らせたり水分補給をするよう声掛けをする等注意しました。		
子どもたちの成長ぶりや心の変化や(感想)等	練習に参加するようになったばかりの低学年ではバットが重くて振るのがやっとなかなかボールにあてることができなくても、学年が上がっていくとしっかりとバットを振ることができるようになり子ども達の身体的な成長を感じます。また全学年が一緒になってチームになり練習を重ねていくうちに、思いやりの心や協調性も育ってくれていると思います。		